

あま市民病院だより

前立腺の疾患(肥大症、がん)について

前立腺は男性特有の臓器で、膀胱のすぐ下にあり尿道を取り囲んでいます。主な働きは、精液の一部を作ることです。

前立腺は、10代でクルミ大に成長しますが、加齢に伴い中年期以降で肥大します。80代では約90%の方で前立腺肥大が見られます。この肥大した前立腺によって尿道が圧迫され狭くなり、排尿困難や頻尿などの症状が引き起こされた状態が前立腺肥大症です。軽症では薬物治療が行われますが、症状の強い場合は内視鏡手術で治療します。

前立腺の細胞が正常な増殖機能を失い、無秩序に増殖した状態が前立腺がんです。多くの場合は前立腺でゆっくりと進行しますが、中にはリンパ節や骨に進行(転移)することがあります。早期発見にはPSA検査が有用です。PSAとは、前立腺細胞から血液中に分泌されるタンパク質であり、血液検査で測定します。PSA値が基準値より高い場合は、前立腺がんの可能性が疑われます。直腸診、エコー検査、MRI検査でさらに前立腺がんが疑わしい場合は生検(前立腺に針を刺して細胞を採取する検査)を行い、確定診断します。

早期で診断されれば、手術や放射線治療により根治が見込めます。

当院では、前立腺肥大症の薬物治療・内視鏡下レーザー手術、前立腺がんのPSA検査～生検が施行可能です。排尿でお困りの方、前立腺がんの心配のある方は、お気軽にご相談ください。

あま市民病院 泌尿器科 古澤 淳



◆◆◆あま市民病院Facebookのご紹介◆◆◆

あま市民病院の活動やお知らせなどをFacebookでも発信しています。



<https://www.facebook.com/amahosp/>

公益社団法人
MED 地域医療振興協会

〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
問合時間：午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日を除く)
☎ 444-0050 FAX 444-0064
<https://www.amahosp.jp/>

